

4 - 1 伊豆半島付近の地震活動 (1986年5月～10月)

Seismic Activities in the Izu Peninsula and its Vicinity (May - October, 1986)

東京大学地震研究所

地震予知移動観測室 (地震移動班)

Earthquake Research Institute, University of Tokyo

1. 1986年5月 (第1図 - (a))

12日～14日および22日～24日に新島西方沖で小規模な群発活動が発生した。この活動は新島北端から石廊崎にいたるNW-SEの線上にのる震央分布をもつ。23日7時7分, $h=17\text{km}$ (M (JMA) 2.8) の地震が駿河湾南部で発生した。

2. 6月 (第1図 - (b))

15日～27日に伊豆半島西岸, 波勝崎沖でM (ERI) 0.5～2.4の地震が5個発生した。21日1時3分, $h = 13\text{km}$ (M (JMA) 2.9) の地震が伊豆半島東方沖で発生した。28日11時5分, $h = 7\text{km}$ (M (JMA) 3.0) の地震が伊豆半島南西部, 大沢付近で発生した。

3. 7月 (第1図 - (c))

伊豆半島東方沖および駿河湾のそれぞれでM (ERI) 1～2の地震が数個散発的に発生した。9日1時18分, $h = 12\text{km}$ (M (JMA) 4.2) の地震が神奈川県西部で発生した。余震は大仙山観測点で6個観測されそのうちの2個のみの震源が決定された。

4. 8月 (第1図 - (d))

伊豆半島では宇佐美沖および川奈崎沖のそれぞれでM (ERI) 1～2の地震が数個発生した。伊豆大島で21日10時20分 (M (JMA) 2.4), 10時32分 (M (JMA) 2.2), 11時21分 (M (ERI) 1.7) の地震が連続して発生した。新島西岸沖および駿河湾のそれぞれでM (ERI) 1～2の地震が3個発生した。

5. 9月 (第1図 - (e))

2日17時25分, $h=20\text{km}$ (M (JMA) 3.9) の地震が静岡県中部, 富沢付近で発生し, 17時32分 (M (ERI) 1.4), 17時37分 (M (ERI) 1.7) の余震が観測された。静岡県中部では21日21時28分 (M (JMA) 2.6) の地震が発生した。11日～16日に伊豆大島西岸, 野増沖で顕著な群発活動が発生した。この活動の主な地震は11日12時39分 (M (JMA) 2.5), 15時12分 (M (JMA) 2.8), 21時05分 (M (JMA) 2.9), 21時46分 (M (JMA) 3.9), 12日05時03分 (M (JMA) 3.0), 15日11時31分 (M (JMA) 2.6) および16日17時50分 (M (JMA) 2.8) である。

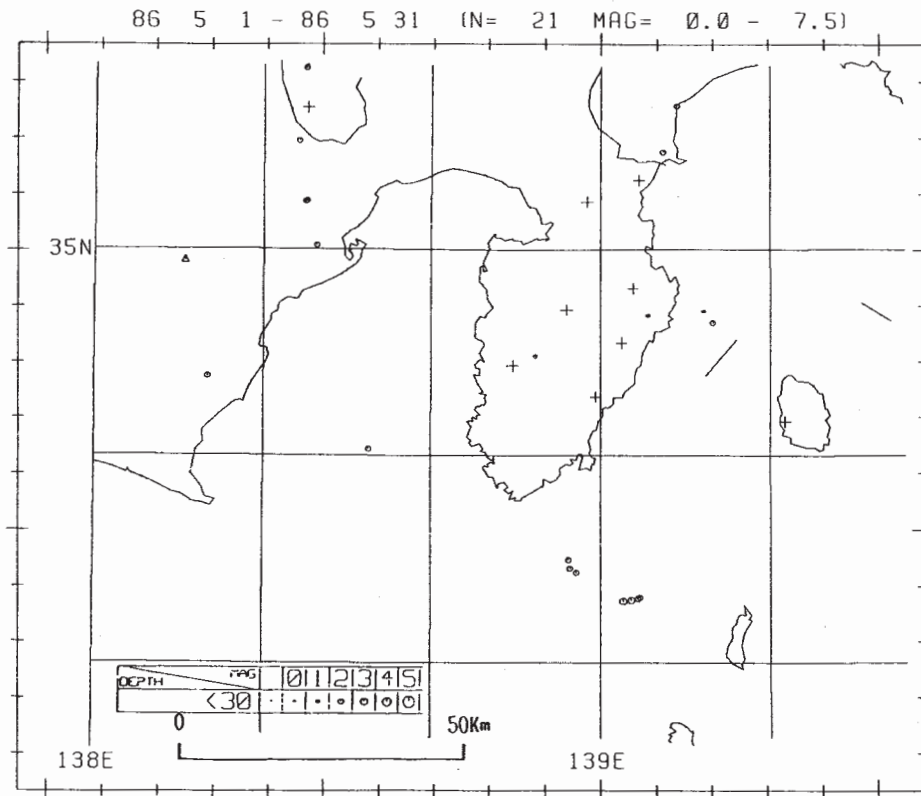
新島西方沖では新島北端から石廊崎にいたるNW-SEの線上にのる震央分布をもつ活動が2日～7日を中心にして発生した。これらは5月12日～24日の場合と同様の分布パターンである。駿河湾では21日21時30分, $h=17\text{km}$ (M (JMA) 2.7) の地震が発生し, 25日にもM (ERI) 1程度の地震が2個発生した。

6. 10月（第1図－（f））

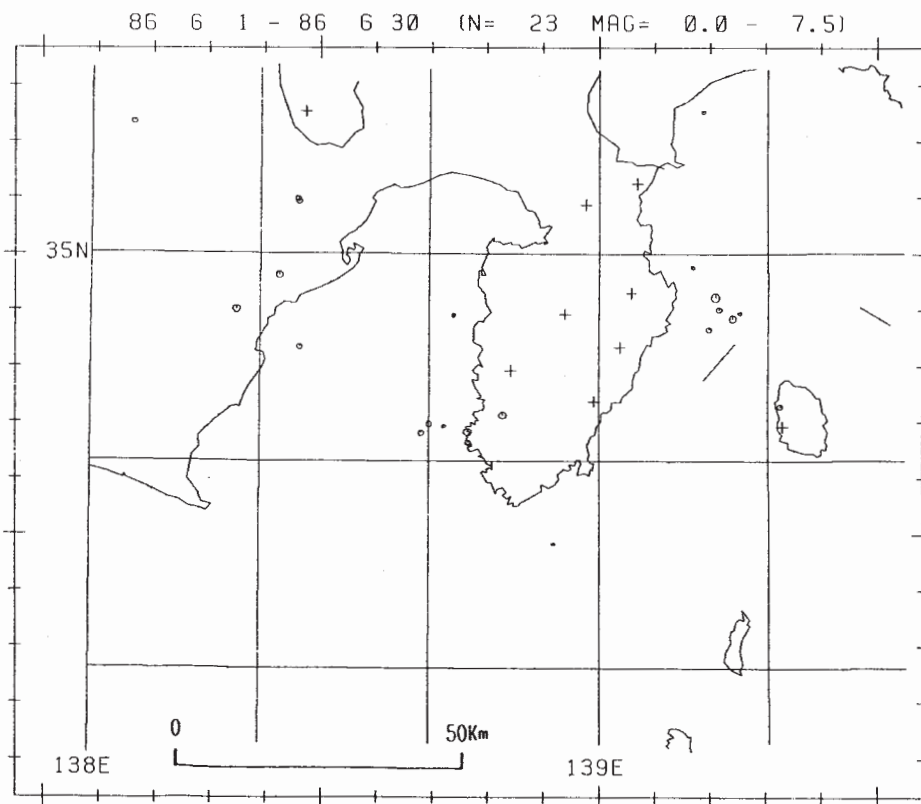
10月10日22時頃から活発な群発活動がはじまった。この活動にともなう地震発生回数のピークは12日であるが、13日19時23分に最大地震（M（JMA）4.8）が発生した。10月下旬からこの活動は急激に減衰した。

伊豆半島の内陸部ではNNE－SSWの震央分布をもつ活動が5日～21日に発生した。新島西方沖では7日3時58分、4時41分、11時49分、12時50分および8日12時20分、13時41分にM（ERI）1.1～2.4の地震が約2kmの範囲に集中して発生した。この活動も5月、9月の新島西方沖の活動と同様に新島北端から石廊崎にいたるNW-SEの線上に位置する。

第2図（a）～（f）に10月11日～16日の伊豆半島東方沖の群発活動の推移を示す。震央分布が時間と共に拡散している。第3図（a）、（b）に8月～10月の活動の時空間系列を示す。第4図（a）～（f）に1983年以降の伊豆東方沖群発地震活動6例についての震央分布図を示す。

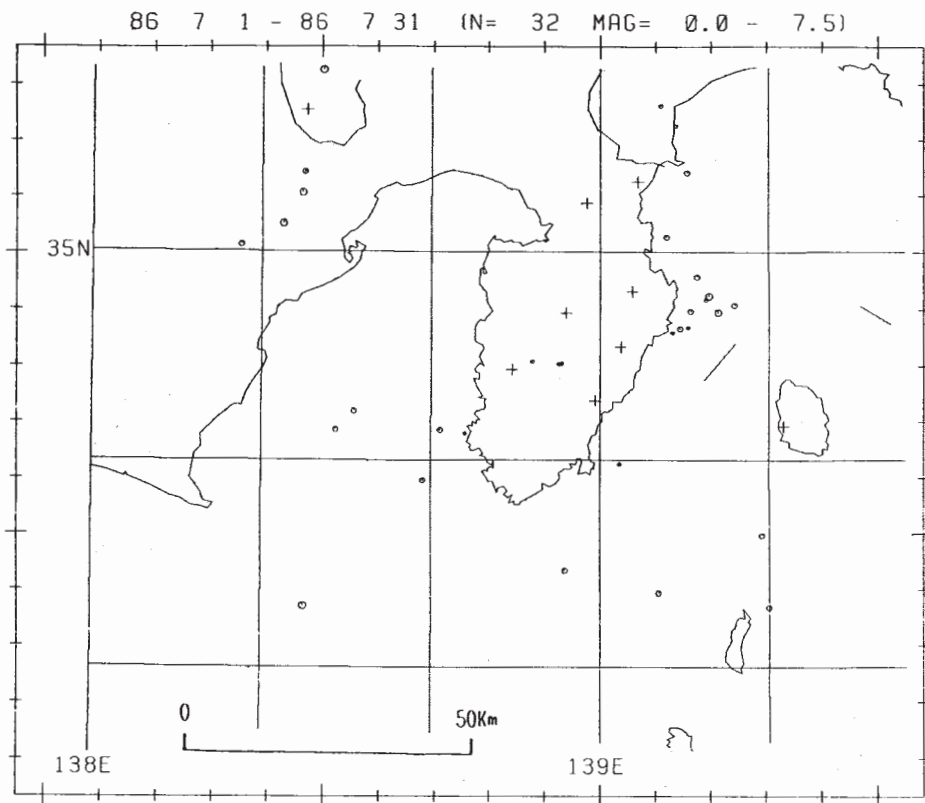


(a)

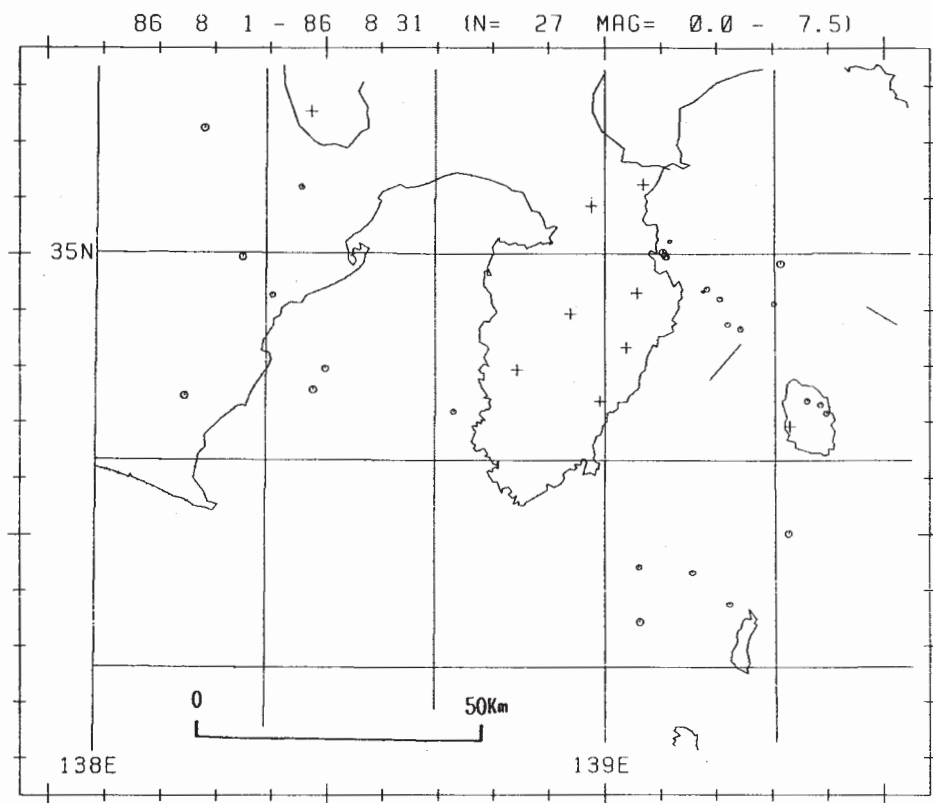


(b)

第1図(a)~(f) 1986年5月から10月までの各月の震央分布
 Fig. 1(a)-(f) Distribution of epicenters for the period from May to October, 1986.



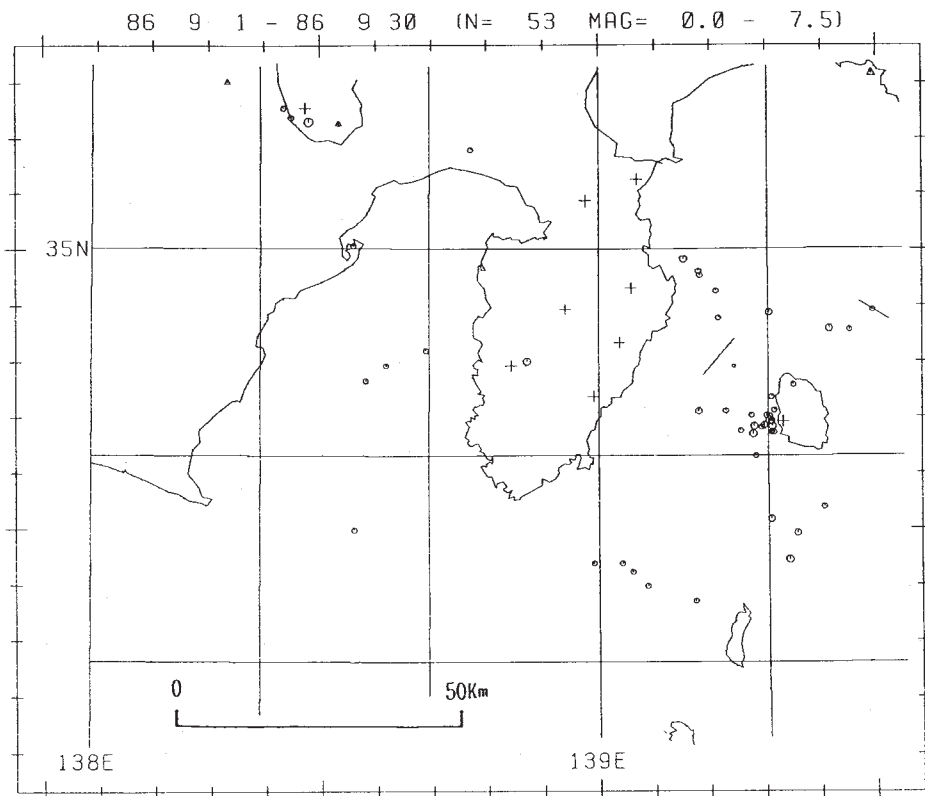
(c)



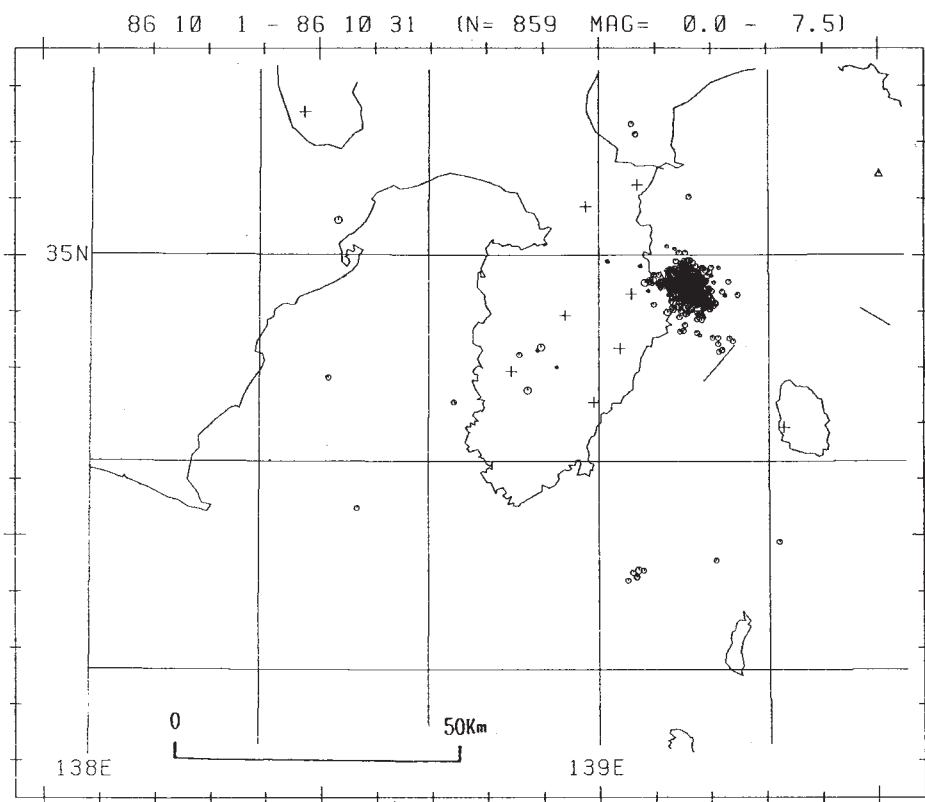
(d)

第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)

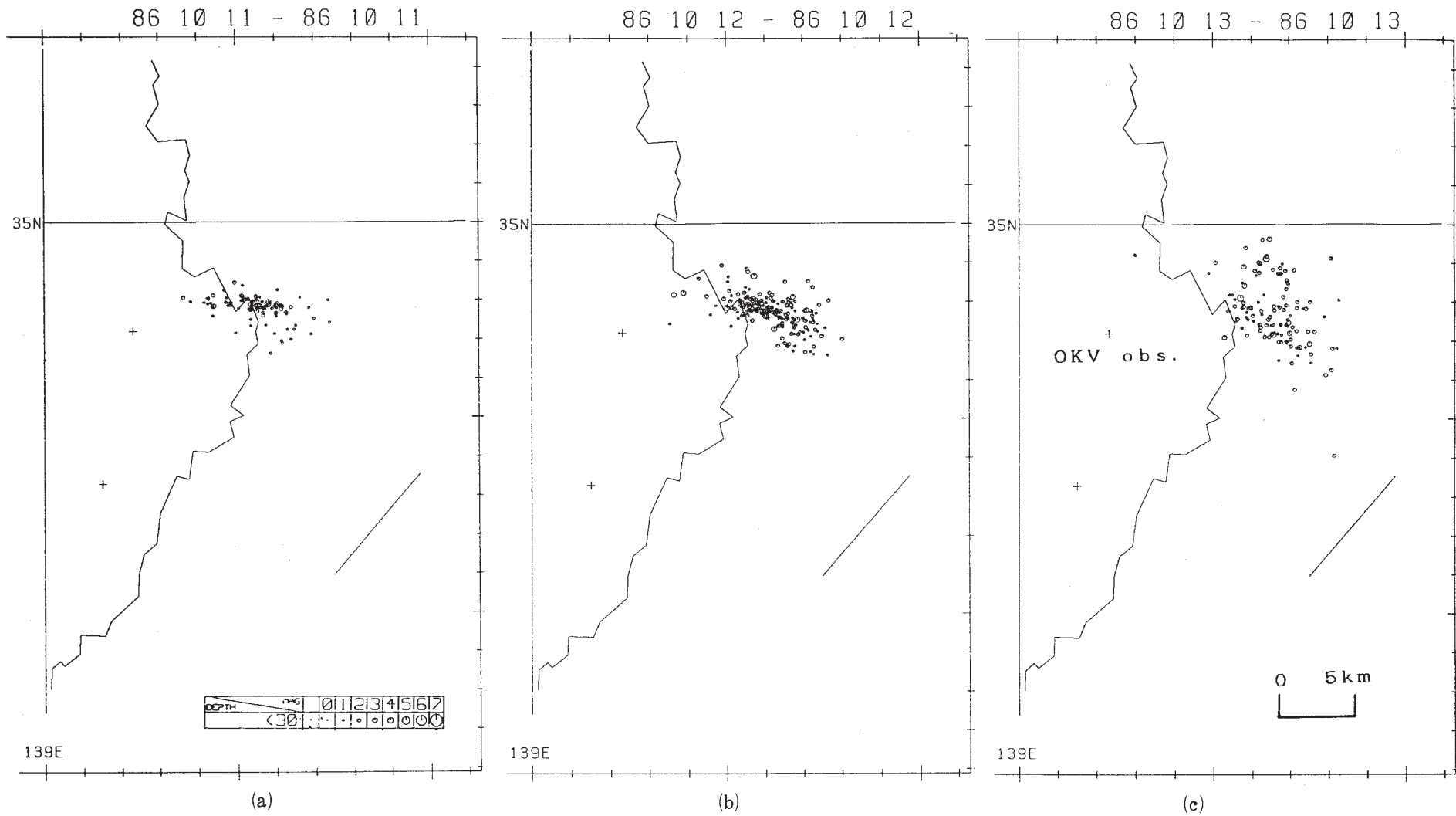


(e)



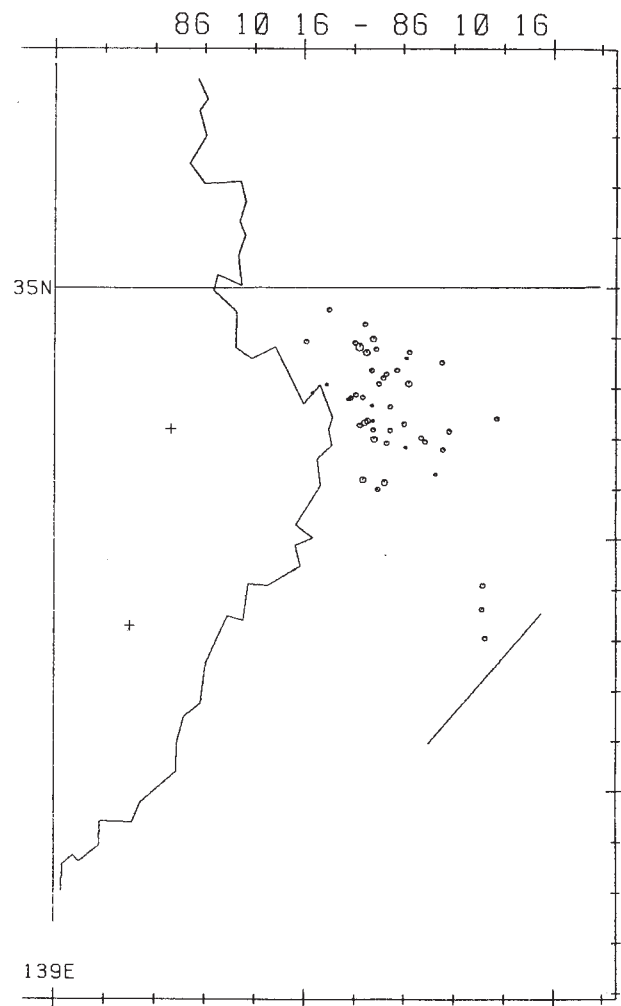
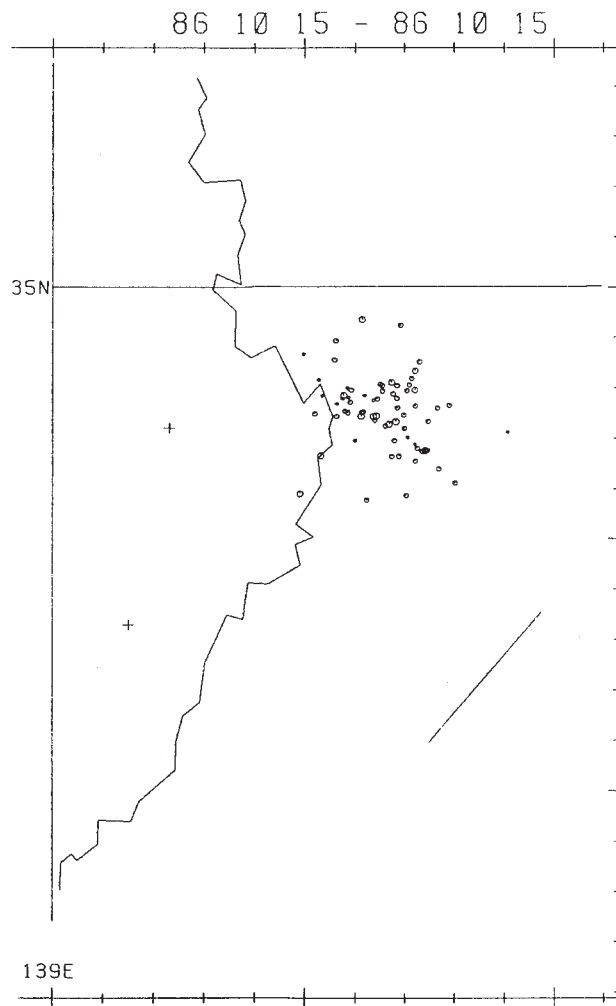
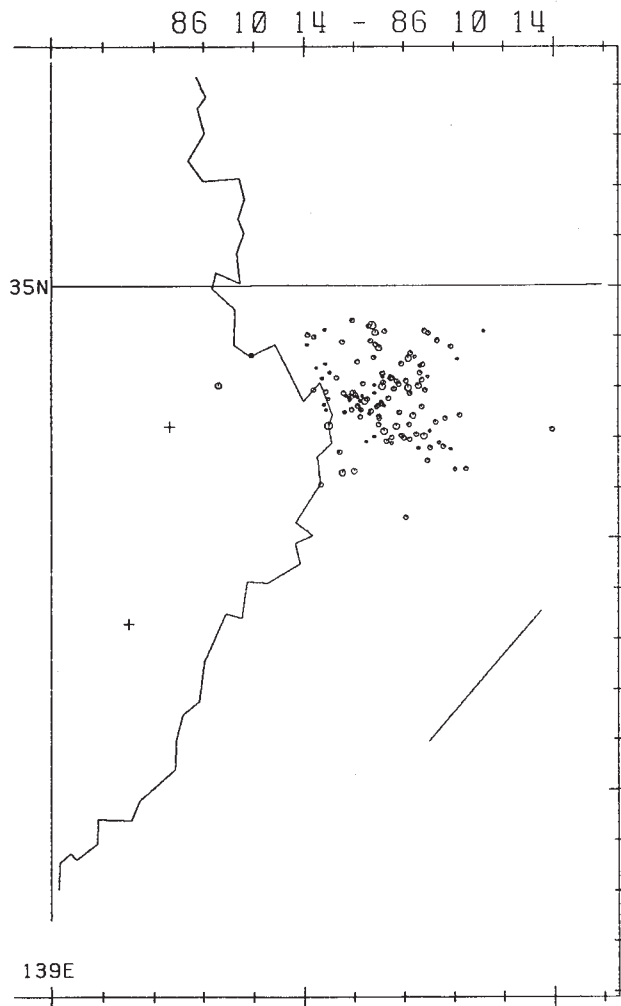
(f)

第1図 つづき
Fig.1 (Continued)

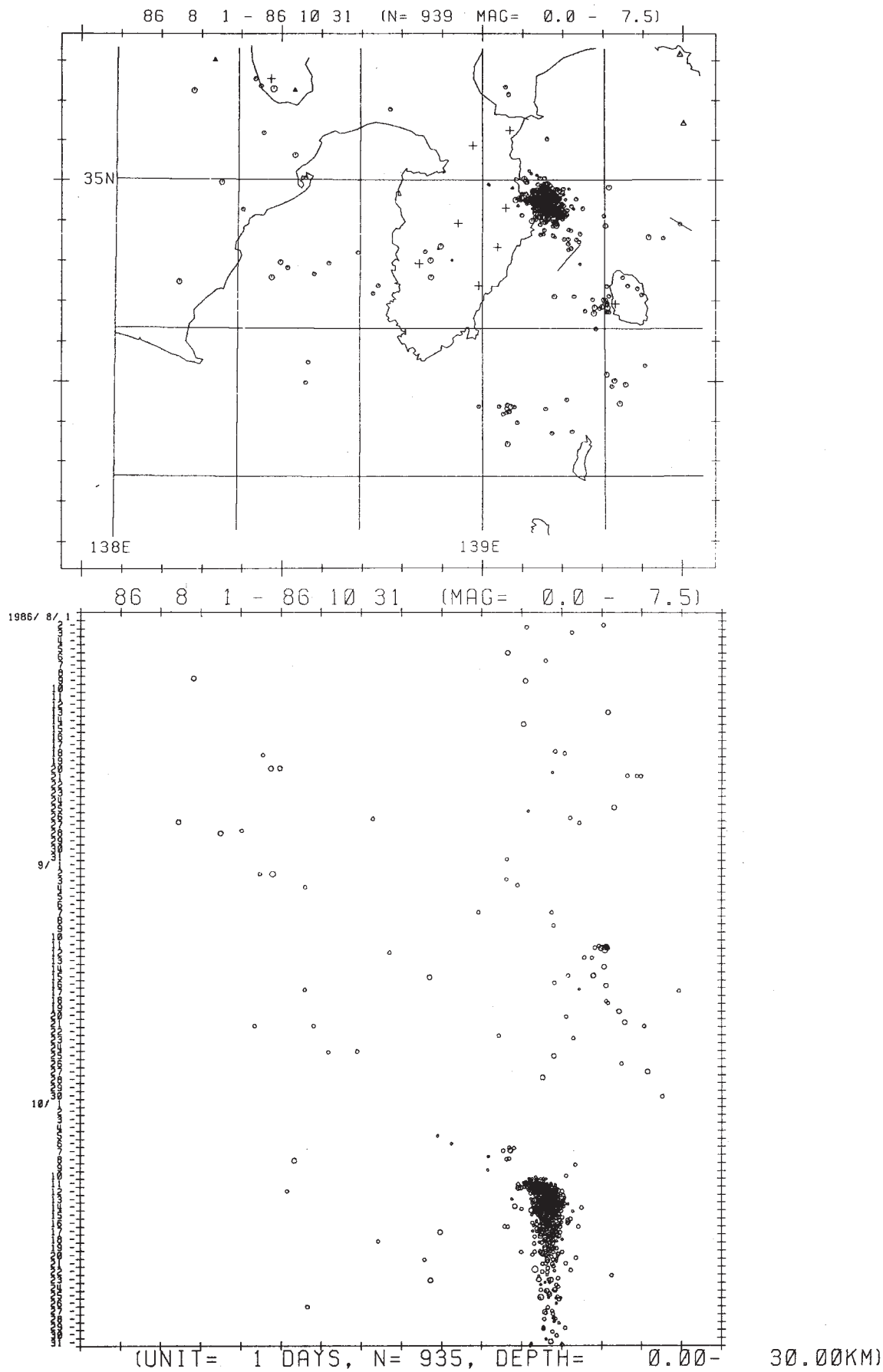


第2図(a)～(f) 1986年10月11日～16日の伊豆半島東方沖の群発活動の1日毎の震央分布

Fig. 2 Distribution of epicenters of the seismic swarm activity off east coast of Izu Peninsula in the period from October 11 to 16, 1986 with a presentation of successive daily step.

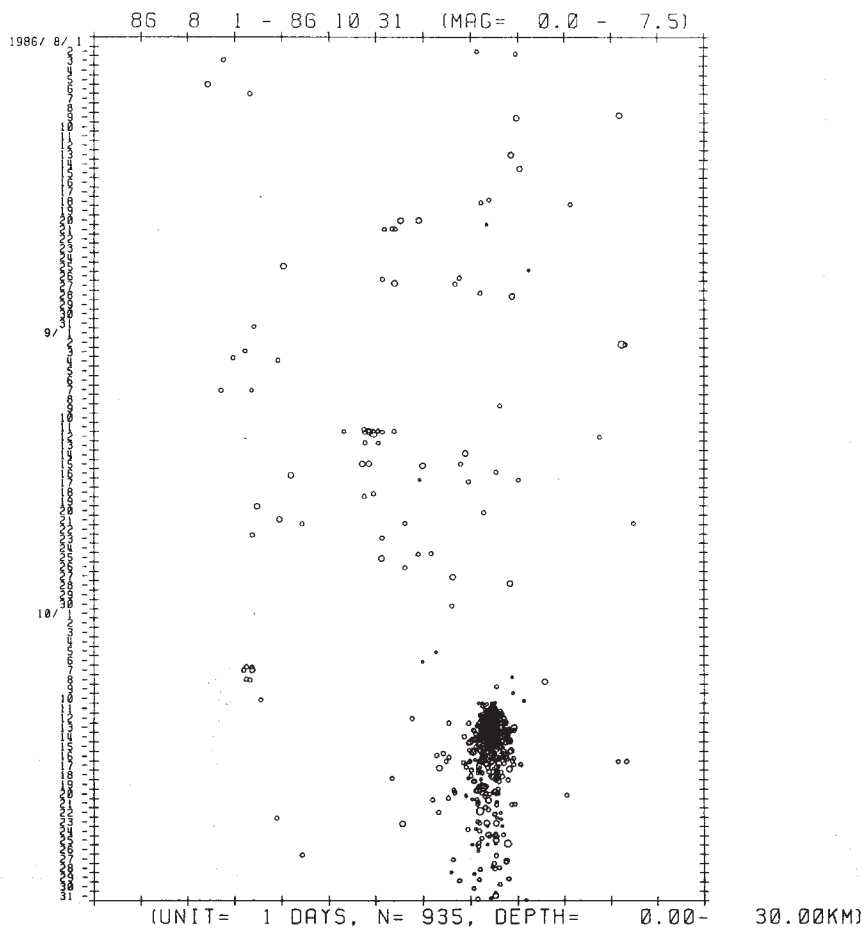
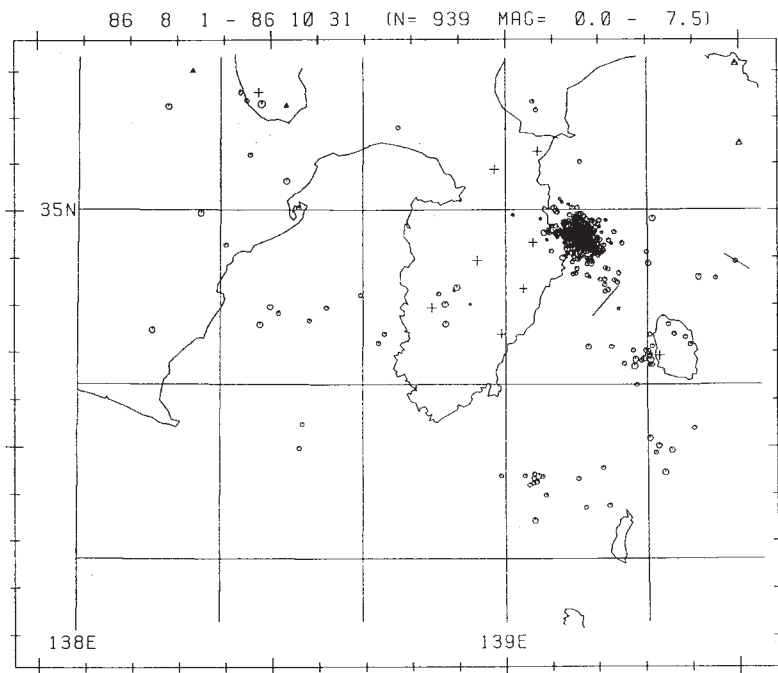


第2図 つづき
Fig. 2 (Continued)

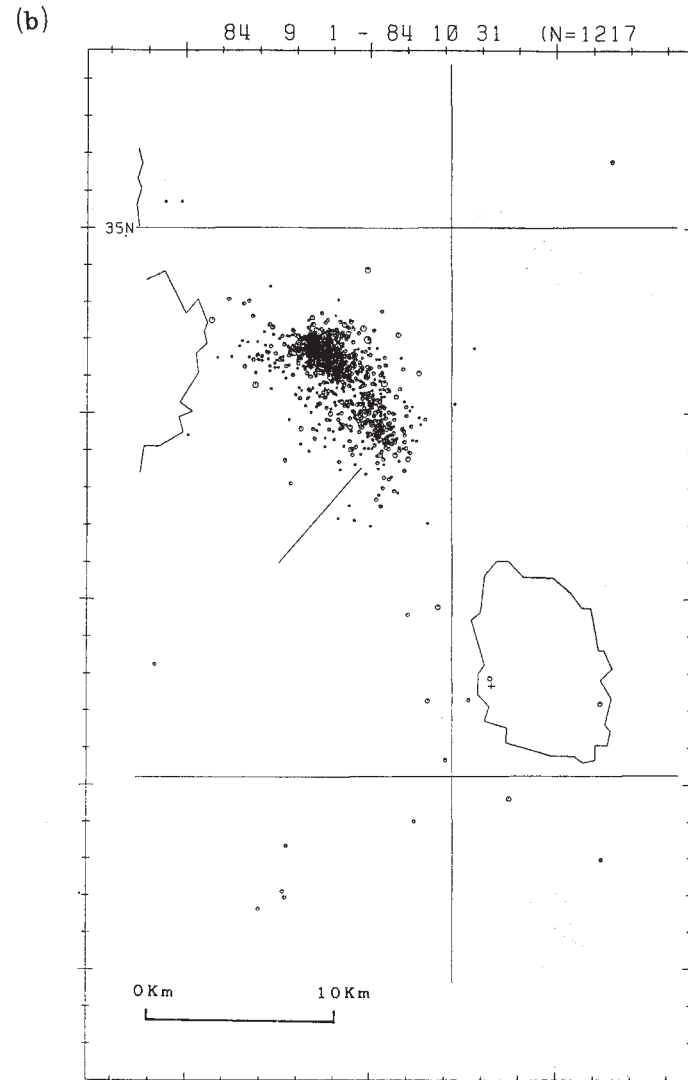
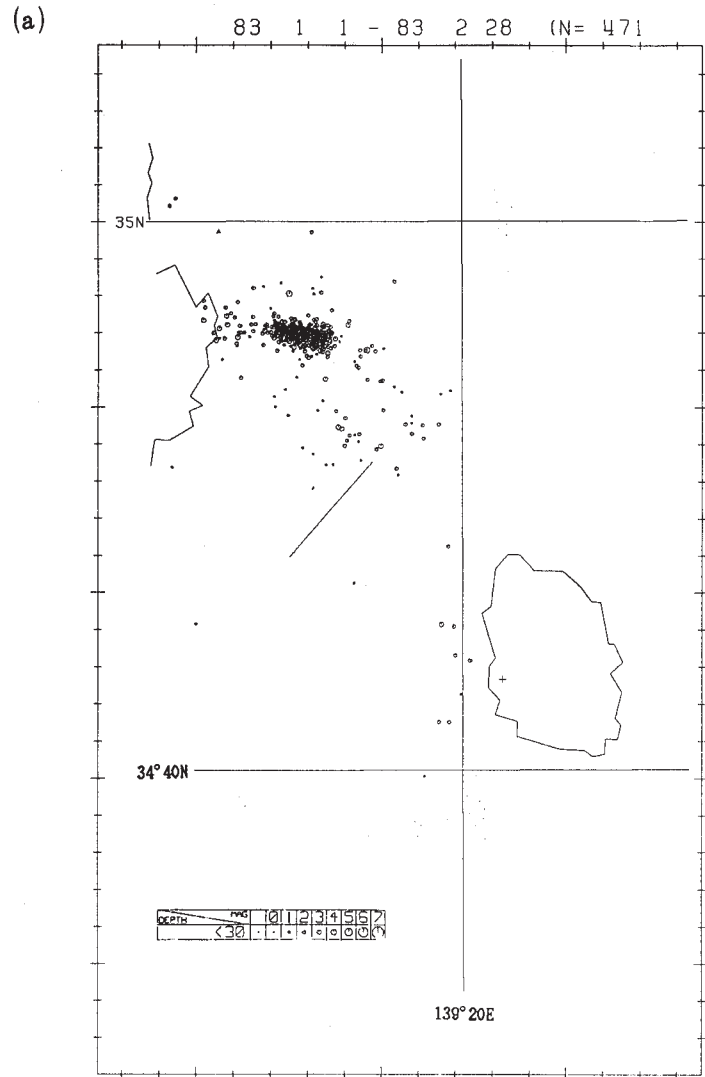


第3図 1986年5月～10月の伊豆半島周辺の震央分布と(a)東西方向および(b)西北方向に投影した震央分布の時空間系列図

Fig. 3 Epicentral distribution near Izu Peninsula and time-space diagram of seismicity projected along (a) east-west and (b) north-south direction for the period from May - October, 1986.

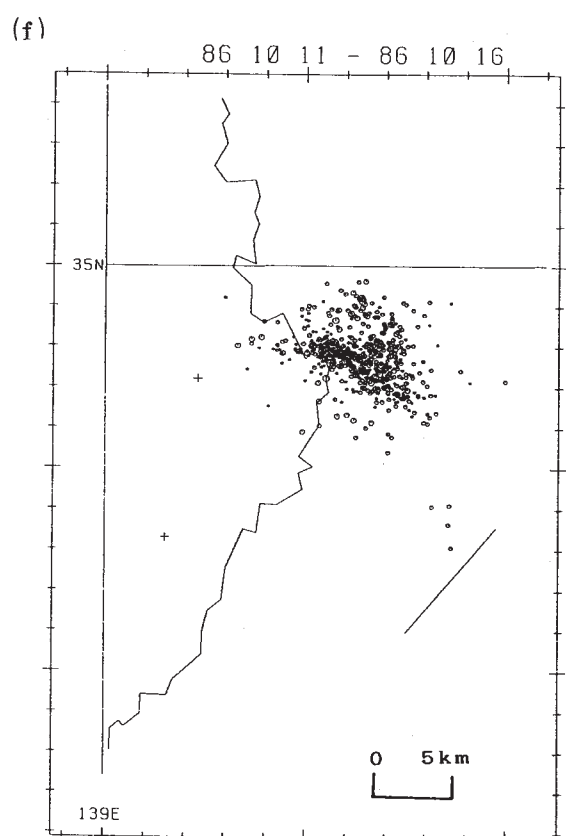
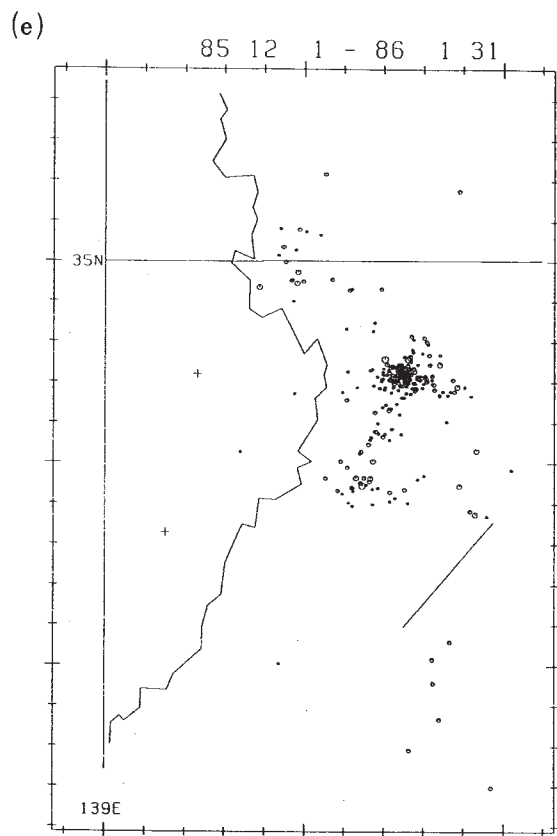
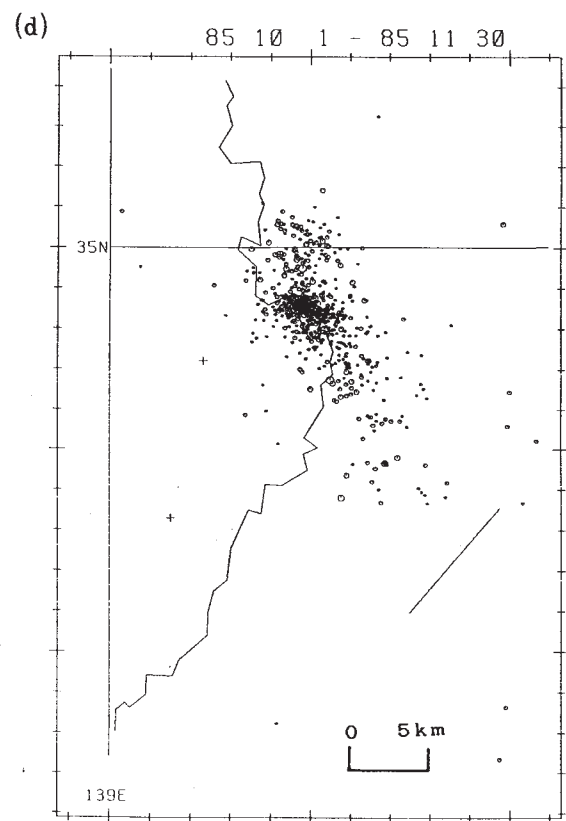
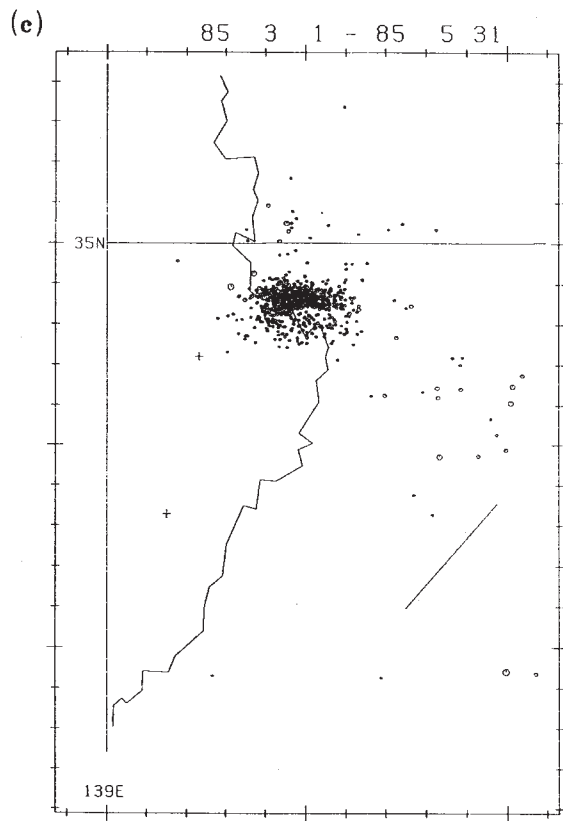


第3図 つづき
Fig.3 (Continued)



第4図(a)~(f) 1983年以來の伊豆半島東方沖の群発活動の震央分布

Fig.4 (a)-(f) Comparative presentation of epicentral distributions of the seismic swarm activities off east coast of Izu Peninsula since 1983.



第4図 つづき
Fig. 4 (Continued)